

明星大学特別上映会

2024年11月30日

[開場] 12:30 ~ [開演] 13:00 ~ 15:20

学ぶ権利を全ての子どもに

「学校をつくる」難民の挑戦

The staging post

夢を育てる確かな教育を

会場：明星大学 日野校 32号館 108

料金：無料（事前予約）

主催：明星大学 国際コミュニケーション学科「映像翻訳」

後援：国連UNHCR協会

アクセス：多摩モノレール

「中央大学・明星大学駅」直結



難民映画祭 | PARTNERS

MEISEI UNIVERSITY



作品のあらすじ

舞台はインドネシアのジャワ島にあるチサルア。そこはオーストラリアのクリスマス島に渡ることを希望する庇護希望者たち（難民認定を待っている人たち）の通過地点として利用されている。インドネシアで生活する庇護希望者には様々な制限があり、教育や就労も禁じられている。そんな中、庇護希望者の当事者であるムザーファとハディムは「どんな環境にいる子どもでも、教育を受ける機会が必要」という信念のもと、庇護希望者の人々と学校を設立することを決めた。様々な困難を乗り越える難民の挑戦、絆、そして強い意志が感じられる作品である。

主な登場人物



ムザーファ

アフガニスタン生まれ、パキスタン育ち。写真家として活動し、アフガニスタンでは国際開発計画（UNDP）に勤務していたが、タリバンからの脅迫を受けインドネシアに逃れる。チサルア難民学習センター（CRLC）創設者。



ハディム

アフガニスタン生まれ、パキスタン育ち。クエッタ市で通っていた学校が爆破されたことを機に、タリバンの迫害を避けるためインドネシアへ逃れる。4度船でオーストラリアへ渡ろうと試みるも失敗に終わる。CRLC共同創設者。

明星大学の授業「映像翻訳」について

明星大学人文学部国際コミュニケーション学科の選択科目「映像翻訳」は、字幕翻訳の基礎的なルールについて学び、実際に海外の短編映画などの翻訳作業を行う通年の授業です。今回の上映作品の字幕は、夏期集中講義の8日間をかけて制作に取り組みました。学生全員が団結して作り上げた集大成を是非お楽しみください。



上映後にゲストとの対談を行います



ゲスト：
加藤めぐみ氏

明星大学人文学部福祉実践学科教授。
専門：オーストラリア地域研究・英語圏文学。
主にオーストラリアの多文化社会を対象に、
多様な人びとの共生と包摂の可能性について
文学作品を対象に研究。著書、訳書：アン＝
マリー・ジョーデンス著『希望 オーストラ
リアにきた難民と支援者の語り』（翻訳 明
石書店 2018年）、『大学的オーストラリア
ガイド』（共著 昭和堂 2021年）、『移動
と境界—越境者からみるオーストラリア』
（共著 昭和堂 2024年）など。

来場する際はサイトより
お申し込みください→

※期限：11/29（金）
※定員に達した場合は期限前に
締め切る場合があります



Instagram



X (Twitter)

